



# 映画で学ぶ 環境問題

奇跡のリンゴ



監督：中村義洋  
 脚本：吉田実似 中村義洋  
 原作：石川拓治  
 出演者：阿部サダヲ 菅野美穂  
 上映：129分  
 公開：2013年  
 配給：東宝

青森県で無農薬リンゴの栽培に成功した木村秋則（きむら・あきのり）氏の、10年に及ぶ奮闘を描いた実話映画です。（以降、敬称略）

阿部サダヲ演じる木村は、リンゴ農家の娘と結婚したことから農業に携わるようになったのですが、妻が農業を散布するたびに体調を崩して寝込むことから何とかして無農薬リンゴの栽培ができないかと奮闘します。

ところが、当時は無農薬栽培の情報も少なく、しかもリンゴはデリケートなため、ことごとく失敗。結局10年近くもたぬ収穫はできず、妻を救うどころ

か、借金ばかりが膨らみます。自分のせいで家族を不幸にしていると思いつめ、彼はとうとう自殺を決意。死に場所を求めて山奥へ入り込んだところ、たわわに実っている野生のリンゴを発見したことから、日本で初めて無農薬リンゴの栽培に成功します。

「豊かな土壌こそ無農薬栽培の力」だと結論を得た木村は、今では国内はもとより、世界各地に指導に出るようになったのですが、頼りなくも信念の主人公が、極貧でも家族とのキズナに支えられる感動の様子は、以前取り上げた沖縄のサンゴ保護活動家を描いた「ていだかんかん」海とサンゴと小さな奇跡」にも共通します。

ただ、本コラムで取り上げたいのは、映画には描かれていない彼の奇妙な体験談です。

たとえば、彼がまだ17歳の頃、田んぼの通学路を歩いていると、突然まわりのすべてが動きを止め、時間が止まった・・・と思ったら、大きな龍が彼の目の前を横切った話や、栽培に成功したある夜には、なんと！自宅から拉致されてUFOに乗せられた話など。

ここまで来ると、目立ちたがり屋の虚言癖とでも言いたくなるかもしれませんが、これらの発言は、彼が既に名声を得て日本一有名な農家になった後でもされていることですから、売名行為ではなさそうです。

実際に「プロフェッショナル仕事の流儀」といったNHK番組でも体験談を披露している「売名行為としては却ってマイナスだから」と、懐疑論者からも反対に支持を得たほどです！UFO拉致事件では、白人女性の「めがねをかけた東洋人らしい男性も一緒に拉致されていた」との目撃証言も出ているそうです。また、龍の目撃仲間には、俳優の杉良太郎や市川海老蔵がいるともいいます。

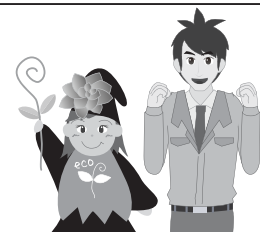
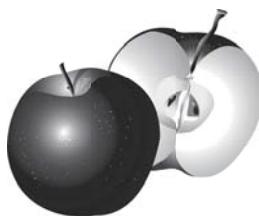
さらに衝撃的なのは、ソクラテス似の老人から「地球カレンダー」を見せられたという体験談。

人間ではないその老人は、今のまま人間が傲慢な行いを続けるなら、想いのほか早く地球は滅亡すると彼に警告したそうです。「地球滅亡を回避するには、

一人一人が「利益や便利さだけを求めるのではなく、人間らしい思いやりの心を取り戻すことが大事」と諭された」と、木村は語ります。

こういった内容は、彼の著書「奇跡を起こす 見えないものを見る力」（扶桑社文庫）にくわしく書かれています。決して奇妙なオカルト本ではなく、体験談が種々と書かれているうえ、ある種、納得できる論理的な内容でしたので、環境問題に興味がある方は、ぜひ一読ください。木村には多くの著書がありますが、内容が類似していることや体験が把握できると思います。

さて映画に話を戻しますと、人間をむしばむ農薬との戦い。そして「答えは大自然にある」「本来の土壌を大切に」「地球を思いやる」という彼の持論は、私達の健康的な生活にも良い影響をもたらすと思えますので、本作品も一度ご覧頂ければ幸いです。



次号も お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

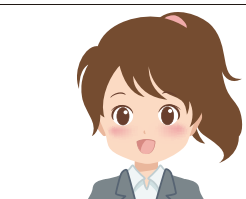
1965年マレーシアから追放されたような形で独立したあと、小さな国土（兵庫県の淡路島程度の面積）と赤道に近い熱帯地域という環境。産業も工業もなく、シンガポールが国家として生き残り、繁栄するために外国からの投資や観光の誘致などに依存せざるを得ませんでした。

この様な事をする背景には、国が生き残っていくための国策です。ですので、法による規制もあります。この様な努力の結果、利用可能な国土の3分の1以上が緑で覆われていてという結果になっています。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

いつもお世話になっております。本社総務部に所属します澤田友香と申します。私は、大学を卒業して携帯電話の販売に勤めていたのですが、約1年半前に結婚を機に転職活動を行い入社させていただきました。初めての業種で初めての事務職ということで戸惑うことが多く1つ1つの業務を覚えるのに必死でした。自分から教えることはすぐに先輩が教えてくださり、安心してお仕事ができるので、私自身とても感謝の気持ちでいっぱいです。現在は主に販売処理業務作成や間違いがないか等のチェック、納品書のお知らせの送信、電話応対、経理のお手伝い、納品書の作成等の業務をしています。経理のお手伝いは最近始めたばかりなのですが、手形や領収書の送付、仕訳入力等を行っています。



本社総務部 澤田 友香

まだまだ分からないことも沢山あり、分からないことは先輩の方や総務部の先輩に聞いていつも助けて頂いているので、1つ1つ早く吸収できればと思っています。体力には自信があるので、お仕事でも長期的に頑張れたらと思っています。今後は、お電話などでご対応をさせていただくことがあるかもしれませんがどうかお手柔らかにお願いします。これからも頑張っていきたいと思いますので今後ともどうぞよろしく願います。

**DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.**

- 本社 大阪府門真市末広町 8-13 TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
- 東京支店 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803